

空手普及に関して町行政はどのような思いか



大城 勝 議員

答 沖縄は空手発祥地であり、継承していけるよう取り組む

問 町内の小中学校の空手授業の現状はどうか。

教育長 中学校で授業に取り入れている。小学校では実施していない。

問 地域の空手家を空手の授業に活用できないか。

教育部長 必要であれば、講師派遣ができるか検討する。

問 子どもの居場所づくりの一環として、地域の公民館などを活用し、空手を広められないか。

教育長 地域から要望があれば、公民館出前講座が可能である。町内4カ所の児童館では空手教室を実施している。

問 中高年の健康づくりとして、空手の公民館講座が新設できないか。

教育長 利用者からの意見等を参考に検討する。

県道82号線沿いに道路照明灯の設置を

問 県道82号線の照屋交差点から山川区向けに給油所がある。その一帯は夜間になると真っ暗闇となる。道路に照明灯の設置ができないか。

副町長 道路管理者に要請を行う。



照明灯の設置要望箇所(照屋)

町文化財の存在意義を高め有効活用を

問 観光協会の催しに南風原まち歩きツアーがある。観光行政の観点から町はどのように捉えているか。

副町長 観光として訪れる方が、本町の風景・風俗・文物を見たり体験することができる。歴史・文化を楽しんでいただく素晴らしい取り組みである。

旅券発行の手数料支払い簡略化を

問 南風原町役場で旅券発行をしている。手数料支払いを簡略化し庁舎内で収入印紙や県証紙の扱いができないか。

副町長 申請者の利便性を考慮し、庁舎内での取り扱いを検討する。

区画整理地域に愛称を

問 町民から募集して、津嘉山北土地区画整理事業地域に愛称を付けられないか。

副町長 町民から募集することについて検討する。

こんな質問もしました

○文化財の維持管理について